

事業計画書

事業名	寄り合い処・かぬき「暖だん」
場所	沼津市 下香貫八重 地内
実施予定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>※ イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。</p> <p>寄り合い処・かぬき「暖だん」を開設し7年目となります。 平成29年度から「まちづくりファンド」の支援を受けて開始した歌声「暖だん」、手芸教室等の各教室の利用者も増え事業は順調に動いています。 参加者からは、下香貫の文化祭(歌唱の部)への参加、手芸品の市展への出展など活動も活性化しているところです。</p> <p>その他、近隣農家の協力による暖だんでの野菜販売、地域外からの参加者が増えるなど活動のバリエーションも広がってきました。</p> <p>そのため、これまで月1回で開催していた各教室の回数を増やすとともに、その他の行事についても拡大を検討し、高齢者の生きがいと自信を育んでいきます。</p> <p>また、賄いの一環で行っていた「カレーの日」については、参加者が増加したことにより設備(備品)の更新を検討していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施場所 寄り合い処・かぬき「暖だん」 ● 開催日 月～金 9:00～16:00 (土・日・祝祭日) ● 人員配置 1日3名程 ● 利用人員 1日 10名ぐらい(行事の時は 20名位)
事業効果	<p>※ 事業の効果を記載してください。</p> <p>ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記してください。</p> <p>病気をし身体が不自由になると、人は家に引きこもります。 そんな時友人に誘われて「暖だん」に歌いにきたことをきっかけに、毎週休み無く来てくれるようになったことを大変うれしく思っております。</p> <p>また、一人暮らしの方が野菜を買いにきてくれ、利用者・近所の方と調理方法について話をするなど、家庭的な雰囲気大切にしています。</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。</p> <p>連合自治会の協力を得ながら地域の方達の要望の多い買物支援や、地域の方達の交流の場としての場所提供。</p>
発展性	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。</p> <p>収益を目的とした事業ではありませんが、居場所を提供することにより、レクリエーションや地域の方達のワークショップ等に安価で参加することが出来る。</p> <p>上達した作品をバザー等に売り上げるにより、自分たちの生きがいに繋がるものと考えている。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。</p> <p>もとは、連合自治会との協力という形でスタートした事業である。</p> <p>地区社協等の協力を得ながら地域に根ざした活動を行いたい。</p> <p>現在は、農家の協力による野菜搬入販売日を設けており、この日は地域の人が大勢来てくれるようになった。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。</p> <p>高齢者の増加により、介護保険制度は大変厳しい時代になってきた。</p> <p>介護が必要になっても、直ぐに対応が難しくなっている。この現実に対応する為、地域の中で高齢者を支えるシステムが必要となってきた。</p> <p>年をとっても介護保険の世話にならず、近所の方達と支え合えるシステムの1つとして居場所を利用する。そして認知症になっても皆で楽しく暮らせる場所「居場所」が必要と考えます。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。</p> <p>活動を活発に運営する為にボランティアの方達の協力が絶対に必要である。</p> <p>居場所を地域の方達との共有場所として提供する上でもっともっと多くのボランティアの協力が必要である。今迄6年間の実績を踏まえ居場所づくりのリーダー的な協力ができるように思う。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。</p> <p>居場所を作っている方達と協力出来るような横の連絡会を作ることが出来ました。</p> <p>それぞれの団体と連携し、利用者目線に立った施設運営に向けて情報交換をしていきます。</p>